

中1 深圳宿泊研修

～自然と触れ合い、皆との絆を深めた2日間～



砂浜でドッジビー



砂に埋まる



カレー作り

9月6日(水)、7日(木)の2日間、中学部1年生は深圳へ宿泊研修に行きました。宿泊研修の目的は、広州では体験できない自然や文化と触れ合うことです。最初に訪れたのは錦繡中華民族村です。ここは万里の長城・故宮など、中国各地の名所をミニチュアで紹介しているテーマパークです。ウォークラリーのように建造物のミニチュアを探しながら歩き回りました。6年生の修学旅行で見学した兵馬俑との再会を喜ぶ生徒たちもいました。

昼食後は砂浜に移動しました。真っ白…とまではいきませんが、サラサラでごみのない砂浜を見た生徒たちは大喜びです。広い砂浜で気兼ねすることなく、思い切りフリスビーを使ったドッジボールを楽しんでいました。砂浜独特の柔らかい感触が面白かったらしく、裸足になってはしゃいだり、寝そべて友達に砂をかけてもらい自ら砂に埋まったりしている生徒もいました。

夕方は砂浜のバーベキュー場で恒例のカレー作りを行いました。始めは慣れない炭火に大苦戦。家庭科の調理実習とは勝手の違う屋外での調理は大変でしたが、みんなで知恵を出し合いながら、何とか美味しいカレーを作り上げました。

2日目は「青青世界」に行きました。こちらは自然をテーマにした公園で、農園、釣り堀、人工熱帯雨林などがありました。生徒たちは密林のような公園の中のアスレチックに挑戦したり、つり橋を渡ったりと自然を満喫することができました。

2日間で「海」と「山」の二つの自然を肌で感じ、友だちや先生との絆を深めることができました。この宿泊研修で得たものを、これからの学校生活に生かして行ってほしいと思います。



吊り橋